

## 平成29年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年10月31日

上場会社名 キリンホールディングス株式会社

上場取引所 東・名・札・福

コード番号 2503

URL <http://www.kirinholdings.co.jp/>

代表者(役職名) 代表取締役社長

(氏名) 磯崎 功典

問合せ先責任者(役職名) グループコーポレートコミュニケーション担当  
ディレクター

(氏名) 藤原 哲也 (TEL) 03-6837-7015

四半期報告書提出予定日 平成29年11月9日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年12月期第3四半期の連結業績(平成29年1月1日～平成29年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第3四半期	1,456,994	△5.6	128,012	15.7	133,539	23.6	117,657	56.7
28年12月期第3四半期	1,542,934	△5.4	110,660	8.2	108,040	6.0	75,105	36.6

(注) 包括利益 29年12月期第3四半期 263,775百万円(—) 28年12月期第3四半期 △33,832百万円(—)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第3四半期	128.93	128.91
28年12月期第3四半期	82.31	82.29

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第3四半期	2,312,208	1,164,022	38.6
28年12月期	2,348,166	946,083	29.0

(参考) 自己資本 29年12月期第3四半期 891,817百万円 28年12月期 680,662百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	19.00	—	20.00	39.00
29年12月期	—	20.50	—		
29年12月期(予想)				20.50	41.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,970,000	△5.1	152,000	7.1	156,000	10.9	120,000	1.6	131.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 5社 (社名) Brasil Kirin Holding S.A.  
 Brasil Kirin Participacoes e Representacoes Ltda.  
 Brasil Kirin Industria de Bebidas Ltda.  
 Brasil Kirin Bebidas Ltda.  
 Lion Nathan Enterprises Pty Limited

(注) 詳細は、添付資料P6「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P6「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	29年12月期3Q	914,000,000株	28年12月期	914,000,000株
② 期末自己株式数	29年12月期3Q	1,388,256株	28年12月期	1,484,147株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	29年12月期3Q	912,569,637株	28年12月期3Q	912,524,658株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- (1) 本資料に掲載されている業績予想に関する記述は、当社及び当グループが本資料の発表日現在で入手可能な情報から得られた判断に基づいていますが、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は、当社及び当グループの事業をとりまく経済情勢、市場動向、為替レートなどに関わる様々な要因により、記述されている業績予想とは大幅に異なる可能性があることをご承知おきください。
- (2) 決算補足説明資料は本日10月31日(火)に、また、11月1日(水)開催の決算説明会(電話会議)における資料・主な質疑応答については速やかに、当社ホームページに掲載いたします。  
 (当社ホームページURL)  
<http://www.kirinholdings.co.jp/irinfo/event/explain/index.html>

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	5
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	6
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	6
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	6
3. 四半期連結財務諸表 .....	7
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	9
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	9
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	10
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	11
(セグメント情報等) .....	11
(追加情報) .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成29年1月1日～平成29年9月30日）における世界経済は、海外政治情勢が不安定となり地政学的リスクが増した一方で、国際金融市場は安定を保ち、世界各国の景気は緩やかな回復基調で推移しました。

わが国経済は、緩やかな景気回復が続き企業収益が堅調に推移したことに加えて人手不足もあり、雇用、所得環境は良好であったものの、夏季に低温の日や長雨が続き、酒類や飲料については個人消費の停滞が見られました。

キリングroupでは、社会とともに持続的に成長することを目指す長期経営構想「新キリン・グループ・ビジョン2021」の実現に向け、「キリングroup2016年－2018年中期経営計画」（略称：2016年中計）で掲げた3つの重点課題への取り組みを一段と進め、構造改革によるキリングroupの再生を目指しました。さらに、事業との関係が深い“健康”“地域社会への貢献”“環境”をキリングroupが長期的に取り組むCSV<sup>※</sup>重点課題とした「グループCSVコミットメント」を策定し、これらの課題の解決に向けた取り組みを進めました。特に“健康”については、キリングroupの独自素材“プラズマ乳酸菌”を活用した新ブランド「iMUSE（イミューズ）」を立ち上げました。

当連結累計期間での連結売上高は、キリンビール(株)及びライオン社酒類事業での販売数量減少や、ブラジルキリン社を第2四半期期首に連結対象から除外した影響により、前年から減少しました。連結営業利益は、日本総合飲料事業と医薬・バイオケミカル事業の増益により増加し、さらに持分法投資利益の貢献により連結経常利益も増加しました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、連結経常利益の増加に加え、ブラジルキリン社の株式譲渡による影響と広島県に所有する商業施設の土地及び建物等の固定資産売却益の計上により、大幅に増加しました。

※ CSV：Creating Shared Valueの略で、社会課題への取り組みによる“社会的価値の創造”及び“経済的価値の創造”の両立により、企業価値向上を実現することです。

連結売上高	1兆4,569億円（前年同期比	5.6%減）
連結営業利益	1,280億円（前年同期比	15.7%増）
連結経常利益	1,335億円（前年同期比	23.6%増）
連結第3四半期純利益 ※1	1,176億円（前年同期比	56.7%増）
（参考）		
平準化EPS ※2	123円（前年同期比	32.3%増）

※1 「親会社株主に帰属する四半期純利益」を指しております。

※2 平準化：特別損益等の非経常項目を除外し、より実質的な収益力を反映させるための調整

平準化EPS = 平準化四半期純利益 / 期中平均株式数

平準化四半期純利益 = 四半期純利益 + のれん等償却額 ± 税金等調整後特別損益

なお、平準化EPSは円未満四捨五入により算出しております。

セグメント別の業績は次のとおりです。

#### 〈日本総合飲料事業〉

キリンビール(株)は、2016年中計の期間を“V字回復を本物にする3年間”と位置付け、誰よりもお客様のことを一番考える会社を目指して、キリンならではの価値創造を進めました。

酒類の公正な取引推進のために年初から当社のビール類の価格が他社に先駆けて上昇した影響に加え、6月の酒税法等改正に伴う量販店での値上げや夏季の天候不順の影響等により、ビール類全体の販売数量は減少しました。一方で、ビールカテゴリーの魅力化と将来の酒税改定の道筋を見据え、主力商品「キリン一番搾り生ビール」を全面的にリニューアルし、販売促進活動に注力した結果、9月の「一番搾り」の販売数量は市場を大きく上回るペースで増加しました。新ジャンルカテゴリーでは、機能性を持つビール系商品に対するお客様の要望に応えるため、主力の「のどごし」ブランドから、9月に「キリン のどごし ZERO」を発売しました。市場全体が拡大傾向にあるRTD<sup>※</sup>カテゴリーでは、主力商品「キリン 氷結」、「キリン 本搾り<sup>m</sup>チューハイ」を中心に、販売数量が大きく増加しました。ノンアルコール・ビールテイスト飲料の販売数量は、「キリン 零ICHI（ゼロイチ）」の販売数量が引き続き伸長したことにより、前年から約6割増加しました。

メルシャン(株)では、ワイン市場全体の持続的な拡大を目指し、カテゴリーごとに注力ブランドを絞ったマーケテ

イング活動を進めました。フラッグシップブランド「シャトー・メルシャン」では、日本ワインづくり140年記念イベントの実施やお客様参加型サイト「シャトー・メルシャン・クラブ」の開設により、日本ワインの話題化と価値啓発に取り組みました。ワイン市場の成長が鈍化する中で、国内製造ワインにおける主力商品「おいしい酸化防止剤無添加ワイン」、輸入ワインにおける注力ブランド「カッセルロ・デル・ディアプロ」、ワイン市場の裾野拡大に向けた商品「ワールドセレクション」の販売数量増加に牽引され、ワイン全体の販売数量は増加しました。

キリンビバレッジ(株)では、持続的な利益ある成長の実現に向けて、強固なブランド体系の構築と収益性の高い事業構造への転換を、一段と進めました。基盤ブランド「キリン 午後の紅茶」は、定番商品のストレート、ミルク、レモン、おいしい無糖の堅調な販売や、特許技術でカフェインを除去した「キリン 午後の紅茶 ストレートティーデカフェ」の発売により、販売数量が増加しました。緑茶市場の活性化を目指して販売促進活動に注力した「キリン 生茶」も、販売数量が増加しました。健康を基軸にした価値創造に挑戦した健康・スポーツ飲料カテゴリーでは、機能性表示食品「キリン サプリ」ブランドから新商品を発売し、カテゴリー全体の販売が伸長しました。しかしながら、天候不順や昨年需要が増加した大型PET容器の水について反動が出た影響で、清涼飲料全体の販売数量は前年より若干減少しました。なお、缶・小型PET容器を中心とした販売目標管理やSCMコスト削減の取り組みを継続し、収益力の向上を図りました。

これらの結果、日本総合飲料事業では、キリンビール(株)におけるビール類の販売数量の減少や、キリンビバレッジ(株)で前第1四半期連結会計期間に費用として計上していた一部販売費を売上高から控除した影響で減収となりましたが、各事業会社でコスト削減等による収益性改善の取り組みが進み、増益となりました。

※ RTD：栓を開けてそのまま飲める低アルコール飲料で、Ready to Drinkの略。

日本総合飲料事業連結売上高	8,349億円（前年同期比	1.9%減）
日本総合飲料事業連結営業利益	589億円（前年同期比	12.4%増）

#### 〈海外総合飲料事業〉

ライオン社酒類事業では、アンハイザー・ブッシュ・インベブ社とのビール販売ライセンス契約終了の影響によりビールの販売数量は前年よりも減少しましたが、基盤ブランドと成長カテゴリーの強化に取り組み、中長期的な収益回復を目指しました。豪州ビール市場の縮小が続く中、伸長するクラフトビールカテゴリーでは「ジェームス・スクワイア」、「ファーフィー」、海外プレミアムビールカテゴリーでは「ハイネケン」の販売数量が、それぞれ前年よりも増加しました。ライオン飲料事業では、オレンジ果汁の不足に伴う原料価格高騰による影響を受けたものの、新商品「デア コールドプレス」の販売が好調だった乳飲料の主力ブランド「デア」や、注力カテゴリーであるヨーグルト、高価格帯チーズの販売が伸長しました。生産拠点集約等のコスト構造改革を引き続き進め、収益力の向上に取り組みました。

ミャンマー・ブルワリー社では、ミャンマー市場首位のポジションをさらに盤石なものとするため、昨年構築したブランドポートフォリオ戦略に基づき、引き続き販売活動を強化しました。市場の変化等を勘案して6月にビールの値上げを実施しましたが、効果的な販売促進活動により、ビール全体の販売数量は前年より大幅に増加しました。特に、現在のミャンマーの消費環境に即した低価格帯商品「アングマン ゴールド」は、大きく販売数量を伸ばしました。主力商品「ミャンマービール」は、販売促進活動を実施した缶容器を中心に、販売数量が増加しました。また、設備増強による生産物流基盤の強化と計画的な在庫管理で、最盛期の需要に確実に応えました。

これらの結果、オセアニア総合飲料事業では、ライオン社酒類事業における販売数量の減少に加え、飲料事業における棚卸資産評価減とオレンジ果汁価格高騰の影響により、減収減益となりました。海外その他総合飲料事業では、前年度に営業損失を計上したブラジルキリン社を第2四半期期首に連結対象から除外した影響と、ミャンマー・ブルワリー社における販売数量の大幅な増加とビールの値上げにより、減収増益となりました。

オセアニア総合飲料事業連結売上高	2,629億円（前年同期比	8.5%減）
オセアニア総合飲料事業連結営業利益	280億円（前年同期比	10.9%減）
海外その他総合飲料事業連結売上高	909億円（前年同期比	31.8%減）
海外その他総合飲料事業連結営業利益	77億円（前年同期比	—）

〈医薬・バイオケミカル事業〉

協和発酵キリン(株)の医薬事業においては、“グローバル・スペシャリティ・ファーマへの飛躍”をテーマに、戦略課題の達成に取り組みました。国内では、引き続き持続型G-CSF製剤「ジーラスタ」\*等の新製品群の売上が堅調でしたが、医療費抑制策に伴う後発医薬品の浸透や昨年4月実施の薬価基準引き下げによる影響で、売上高は減少しました。海外では、アストラゼネカ社からの契約一時金・マイルストーン収入等と癌疼痛治療薬「Abstral」「PecFent」及びオピオイド誘発性便秘治療剤「Moventig」等の伸長により、売上は前年よりも増加しました。研究開発では、グローバル戦略品の開発が順調に進みました。

バイオケミカル事業では、通信販売事業で昨年発売の「アルギニンEX」や医薬・健食用原料は堅調に推移したものの、国内売上は前年を下回りました。海外では、前年度に米州でサプリメント向け原料の集中出荷があった影響やアジアにおける一部製品の競争激化による影響により、売上高は減少しました。

これらの結果、医薬・バイオケミカル事業全体では、国内医薬品の売上が減少したものの、技術収入の増加と研究開発費の減少等により、増収増益となりました。

※ ジーラスタ：がん化学療法時の重篤な副作用の1つである、発熱性好中球減少症の発症抑制に用いられる薬剤です。

医薬・バイオケミカル事業連結売上高	2,532億円（前年同期比	0.3%増）
医薬・バイオケミカル事業連結営業利益	367億円（前年同期比	26.0%増）

〈その他事業〉

その他事業において、小岩井乳業(株)では“小岩井らしさ”を持った商品である主力商品「小岩井 生乳（なまにゅう）100%ヨーグルト」「小岩井 生乳ヨーグルトクリーミー脂肪0（ゼロ）」の販売活動に注力し、これらの商品の販売数量は昨年から増加しましたが、市場全体の低迷により全体の売上は昨年から減少しました。なお、新ブランド「iMUSE（イミューズ）」から、小岩井乳業の強みを活かした「小岩井 iMUSE 生乳ヨーグルト」、「小岩井 iMUSE のむ生乳ヨーグルト」を発売しました。

その他事業全体では、小岩井乳業(株)の売上減少に加え、(株)横浜アリーナ並びに広島県の商業施設の土地及び建物等の固定資産の譲渡による影響で、減収減益となりました。

その他事業連結売上高	149億円（前年同期比	18.6%減）
その他事業連結営業利益	10億円（前年同期比	52.4%減）



(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金の増加、受取手形及び売掛金、有形固定資産の減少等により、前連結会計年度末に比べ359億円減少して2兆3,122億円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金及び有利子負債の減少等により、前連結会計年度末に比べ2,538億円減少して1兆1,481億円となりました。

純資産は、為替換算調整勘定の増加等により、前連結会計年度末に比べ2,179億円増加して1兆1,640億円となりました。

上記変動の主な要因は、ブラジル連結子会社売却によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、第3四半期までの進捗及び連結子会社における当期純利益の増加を加味した結果、平成29年8月3日付で発表した平成29年12月期の連結業績予想を、下記のとおり修正しております。

【平成29年12月期の連結業績予想】

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 親会社株主に 帰属する 当期純利益
前回発表予想 (A)	1,970,000	152,000	156,000	114,000	124円92銭
今回修正予想 (B)	1,970,000	152,000	156,000	120,000	131円50銭
増減額 (B - A)	—	—	—	6,000	—
増減率 (%)	—	—	—	5.3	—
前期実績 (平成28年12月期)	2,075,070	141,889	140,676	118,158	129円49銭

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第2四半期連結会計期間において、特定子会社のBrasil Kirin Holding S.A.、Brasil Kirin Participacoes e Representacoes Ltda.、Brasil Kirin Industria de Bebidas Ltda.、Brasil Kirin Bebidas Ltda. 及び Lion Nathan Enterprises Pty Limitedは売却により、連結の範囲から除外いたしました。

### （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### 税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。



3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	58,990	165,470
受取手形及び売掛金	393,500	345,836
商品及び製品	135,335	133,287
仕掛品	25,229	24,446
原材料及び貯蔵品	47,045	43,922
その他	93,493	114,322
貸倒引当金	△5,445	△1,150
流動資産合計	748,148	826,135
固定資産		
有形固定資産	705,204	629,536
無形固定資産		
のれん	228,983	225,550
その他	172,927	146,564
無形固定資産合計	401,910	372,115
投資その他の資産		
投資有価証券	396,057	417,951
退職給付に係る資産	9,432	9,897
その他	92,630	61,810
貸倒引当金	△5,216	△5,239
投資その他の資産合計	492,904	484,420
固定資産合計	1,600,018	1,486,072
資産合計	2,348,166	2,312,208

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	135,801	109,408
短期借入金	89,934	71,696
コマーシャル・ペーパー	45,000	—
1年内償還予定の社債	—	69,999
未払法人税等	21,162	10,230
引当金	10,073	18,375
その他	348,410	286,498
流動負債合計	650,382	566,208
固定負債		
社債	194,994	124,996
長期借入金	318,712	272,795
訴訟損失引当金	20,299	—
その他の引当金	7,121	7,065
退職給付に係る負債	67,390	65,453
その他	143,182	111,666
固定負債合計	751,700	581,977
負債合計	1,402,082	1,148,185
純資産の部		
株主資本		
資本金	102,045	102,045
資本剰余金	2	2,270
利益剰余金	629,024	709,635
自己株式	△2,126	△2,002
株主資本合計	728,945	811,949
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	60,170	71,341
繰延ヘッジ損益	△1,170	△258
土地再評価差額金	△1,959	△1,959
為替換算調整勘定	△86,607	27,369
退職給付に係る調整累計額	△18,716	△16,625
その他の包括利益累計額合計	△48,282	79,867
新株予約権	562	633
非支配株主持分	264,859	271,572
純資産合計	946,083	1,164,022
負債純資産合計	2,348,166	2,312,208

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)
売上高	1,542,934	1,456,994
売上原価	861,213	790,020
売上総利益	681,720	666,973
販売費及び一般管理費	571,060	538,960
営業利益	110,660	128,012
営業外収益		
受取利息	2,659	1,951
受取配当金	1,657	1,894
持分法による投資利益	8,988	13,780
その他	2,770	1,891
営業外収益合計	16,076	19,518
営業外費用		
支払利息	10,708	6,058
為替差損	4,242	5,441
その他	3,746	2,491
営業外費用合計	18,696	13,991
経常利益	108,040	133,539
特別利益		
固定資産売却益	8,155	32,429
投資有価証券売却益	7,144	575
関係会社株式売却益	—	2,678
受取解約金	20,967	—
その他	1,724	2,599
特別利益合計	37,991	38,283
特別損失		
固定資産除却損	2,177	676
固定資産売却損	508	141
投資有価証券評価損	44	661
投資有価証券売却損	276	81
関係会社株式売却損	—	45,378
その他	12,399	8,678
特別損失合計	15,406	55,617
税金等調整前四半期純利益	130,625	116,205
法人税等	42,497	△16,792
四半期純利益	88,127	132,997
非支配株主に帰属する四半期純利益	13,022	15,340
親会社株主に帰属する四半期純利益	75,105	117,657

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	88,127	132,997
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△20,596	11,591
繰延ヘッジ損益	△5,957	912
土地再評価差額金	61	—
為替換算調整勘定	△68,150	110,999
退職給付に係る調整額	1,641	1,868
持分法適用会社に対する持分相当額	△28,959	5,406
その他の包括利益合計	△121,960	130,777
四半期包括利益	△33,832	263,775
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△32,234	246,127
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,597	17,647

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	総合飲料			医薬・バイ オケミカル			
	日本	オセアニア	海外その他				
売上高							
外部顧客への売上高	851,223	287,521	133,375	252,477	18,336	—	1,542,934
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,643	86	195	5,283	666	△7,875	—
計	852,867	287,607	133,571	257,761	19,002	△7,875	1,542,934
セグメント利益又は損失(△)	52,465	31,472	△86	29,163	2,204	△4,559	110,660

(注)1 「その他」の区分は、乳製品などの食品事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△4,559百万円には、セグメント間取引消去563百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△5,122百万円が含まれております。全社費用は、主に純粋持株会社である当社において発生するグループ管理費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	総合飲料			医薬・バイ オケミカル			
	日本	オセアニア	海外その他				
売上高							
外部顧客への売上高	834,941	262,961	90,936	253,225	14,929	—	1,456,994
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,847	20	6	5,213	581	△7,670	—
計	836,789	262,982	90,942	258,439	15,510	△7,670	1,456,994
セグメント利益	58,959	28,036	7,767	36,731	1,050	△4,532	128,012

(注)1 「その他」の区分は、乳製品などの食品事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額 △4,532百万円には、セグメント間取引消去420百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△4,953百万円が含まれております。全社費用は、主に純粋持株会社である当社において発生するグループ管理費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な発生及び変動はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

# 2017年第3四半期決算 補足説明資料

1. 連結損益計算書サマリー・指標等
2. 売上高明細
3. 利益増減明細
4. 連結貸借対照表サマリー
5. その他情報

キリンホールディングス株式会社  
2017年10月31日



1. 連結損益計算書サマリー・指標等

(1) 損益計算書サマリー・指標等

(単位：億円)

	2017年 第3四半期 (実績)	2016年 第3四半期 (実績)	対前年増減	
			△	%
売上高	14,569	15,429	△ 859	△5.6%
売上総利益	6,669	6,817	△ 147	△2.2%
販売費及び一般管理費	5,389	5,710	△ 320	△5.6%
営業利益	1,280	1,106	173	15.7%
営業外収益	195	160	34	21.4%
営業外費用	139	186	△ 47	△25.2%
経常利益	1,335	1,080	254	23.6%
特別利益	382	379	2	0.8%
特別損失	556	154	402	261.0%
税金等調整前四半期純利益	1,162	1,306	△ 144	△11.0%
法人税等	△ 167	424	△ 592	—
非支配株主に帰属する四半期純利益	153	130	23	17.8%
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,176	751	425	56.7%
平準化EPS	123円	93円	30円	32.3%
売上高(酒税抜き)	12,451	13,273	△ 822	△6.2%
営業利益(のれん等償却前)	1,486	1,319	167	12.7%
営業利益率(対酒税抜き・のれん等償却前)	11.9%	9.9%		
平準化EBITDA	2,072	1,949	122	6.3%
EPS(のれん等償却前)	160円	114円	46円	40.4%

平準化EPS = 平準化四半期純利益 / 期中平均株式数

平準化四半期純利益 = 四半期純利益 + のれん等償却額 ± 税金等調整後特別損益

平準化EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額 + 持分法適用関連会社からの受取配当金

(2) 主要在外会社損益の為替換算レート及び取込期間

(単位：円)

	2017年 第3四半期 (実績)	2016年 第3四半期 (実績)
ライオン(豪ドル)	84.30	83.87
ブラジルキリン(ブラジルリアル)	36.04	31.12
ミャンマー・ブルワリー (ミャンマーチャット('000))	83.09	92.62

	2017年第3四半期(実績)	2016年第3四半期(実績)
ライオン	2016年10月～2017年6月	2015年10月～2016年6月
ミャンマー・ブルワリー		
サンミゲルビール		

2. 売上高明細

(単位：億円)

	2017年 第3四半期 (実績)	2016年 第3四半期 (実績)	対前年増減	
			△	%
売上高	14,569	15,429	△ 859	△5.6%
日本総合飲料	8,349	8,512	△ 162	△1.9%
キリンビール	4,968	5,028	△ 59	△1.2%
キリンビバレッジ	2,548	2,677	△ 129	△4.8%
メルシャン	448	458	△ 9	△2.1%
その他・内部取引消去	383	347	35	10.3%
海外総合飲料	3,538	4,208	△ 669	△15.9%
ライオン	2,629	2,876	△ 246	△8.6%
ブラジルキリン	315	791	△ 475	△60.1%
ミャンマー・ブルワリー	197	180	17	9.5%
その他・内部取引消去	395	360	34	9.7%
医薬・バイオケミカル	2,532	2,524	7	0.3%
協和発酵キリン	2,584	2,577	6	0.3%
医薬	1,982	1,958	24	1.2%
バイオケミカル	601	619	△ 17	△2.8%
その他・内部取引消去	△ 52	△52	0	—
その他	149	183	△ 34	△18.6%

<参考> 酒税売上高

(単位：億円)

	2017年 第3四半期 (実績)	2016年 第3四半期 (実績)
キリンビール	2,944	2,958

3. 利益増減明細

(1) 営業利益

(単位：億円)

	2017年 第3四半期 (実績)	2016年 第3四半期 (実績)	対前年増減
営業利益	1,280	1,106	173
日本総合飲料	589	524	64
キリンビール	520	510	9
キリンビバレッジ	218	156	62
メルシャン	23	17	6
その他 ※	△173	△158	△14
海外総合飲料	358	313	44
ライオン(連結組替後)	387	420	△33
のれん償却額	△82	△81	△0
ブランド償却費	△24	△24	△0
計	280	314	△34
ブラジルキリン(連結組替後)	△8	△81	73
ブランド償却費	△1	△5	3
計	△10	△86	76
ミャンマー・ブルワリー(連結組替後)	87	78	8
のれん償却額	△12	△12	0
ブランド償却費	△11	△12	1
計	63	53	10
その他	24	32	△8
医薬・バイオケミカル	367	291	75
協和発酵キリン(連結組替後)	367	291	75
医薬	291	220	70
バイオケミカル	50	47	2
その他・のれん償却額消去	72	69	2
のれん償却額	△46	△46	—
その他	10	22	△11
全社費用・セグメント間取引消去	△45	△45	0

※ 持株会社の費用及びその他構成会社の損益を含んでおります。

主な営業利益増減内容

(単位：億円)

会社名	要因	対前年 増減	内容
キリンビール	酒類等限界利益減	△4	ビール販売数量減 △12千kl △16億
			発泡酒販売数量減 △11千kl △12億
			新ジャンル販売数量減 △27千kl △32億
			R T D販売数量増 20千kl 21億 他
	原材料費減 24	原料費減 12億、包材費減 12億	
販売費減 9	販売促進費減 24億、広告費増 △8億 (710億→693億) 他 (ビール・発泡酒・新ジャンル 39億 他)		
その他費用増 △20	減価償却費増 △6億 他		
計		9	
キリンビバレッジ	清涼飲料限界利益増	27	販売数量減 △256万ケース △12億
			商品・容器構成差異等 39億
	原材料費等減 25	原料費増 △0億、包材費減 16億、 加工費減 10億	
	販売費減 1	販売促進費減 20億、広告費増 △18億 (計 262億→261億)	
その他費用減 9	人件費等		
計		62	

(2) 経常利益、四半期純利益

(単位：億円)

	2017年 第3四半期 (実績)	2016年 第3四半期 (実績)	対前年増減	増減内容
営業外損益	55	△26	81	
金融収支	△22	△63	41	
持分法による投資損益	137	89	47	
サンミゲルビール	96	74	22	現地持分損益 21億 他
その他	40	15	25	
為替差損益	△54	△42	△11	
その他	△5	△9	3	
経常利益	1,335	1,080	254	
特別損益	△173	225	△399	
特別利益	382	379	2	
固定資産売却益	324	81	242	
投資有価証券売却益	5	71	△65	
関係会社株式売却益	26	—	26	
受取解約金	—	209	△209	
その他	25	17	8	
特別損失	△556	△154	△402	
固定資産除却損	△6	△21	15	
固定資産売却損	△1	△5	3	
投資有価証券評価損	△6	△0	△6	
投資有価証券売却損	△0	△2	1	
関係会社株式売却損	△453	—	△453	ブラジルキリン売却 451億 他
その他	△86	△123	37	
法人税等	167	△424	592	
非支配株主に帰属する四半期純利益	△153	△130	△23	
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,176	751	425	

4. 連結貸借対照表サマリー

(単位：億円)

	2017年 第3四半期末	2016年 期末	増減額	増減内容
流動資産	8,261	7,481	779	
現金及び預金	1,654	589	1,064	
受取手形及び売掛金	3,458	3,935	△476	・連結子会社売却による減少 他
棚卸資産	2,016	2,076	△59	
その他	1,131	880	251	
固定資産	14,860	16,000	△1,139	
有形固定資産	6,295	7,052	△756	・連絡子会社売却による減少 他
無形固定資産	3,721	4,019	△297	
のれん	2,255	2,289	△34	
その他	1,465	1,729	△263	
投資その他の資産	4,844	4,929	△84	
資産合計	23,122	23,481	△359	
流動負債	5,662	6,503	△841	
支払手形及び買掛金	1,094	1,358	△263	・連結子会社売却による減少 他
有利子負債	1,416	1,349	67	・社債及び借入金の長短振替による増加 ・借入金返済及びCP償還による減少 他
その他	3,151	3,796	△645	・連結子会社売却による減少 他
固定負債	5,819	7,517	△1,697	
有利子負債	3,977	5,137	△1,159	・社債及び長期借入金の長短振替による減少 他
その他	1,841	2,379	△538	・連絡子会社売却による減少 他
負債合計	11,481	14,020	△2,538	
株主資本	8,119	7,289	830	
その他の包括利益累計額	798	△482	1,281	・連絡子会社売却による増加 他
新株予約権	6	5	0	
非支配株主持分	2,715	2,648	67	
純資産合計	11,640	9,460	2,179	
負債純資産合計	23,122	23,481	△359	

5. その他情報

(1) 主要な開示連結会社損益 (連結組替後)

2017年第3四半期実績

<連結子会社>

(単位: 億円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	連結純利益
協和発酵キリン	2,584	343	317	197	104
のれん償却額消去		69	69	69	36
のれん償却額		△46	△46	△46	△46
連結取込計	2,584	367	340	220	94

<持分法適用関連会社>

(単位: 億円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	連結純利益
サンミゲルビール	1,820	503	470	322	156
現地持分損益			156	156	156
ブランド償却費			△14	△14	△14
のれん償却額			△45	△45	△45
連結取込計			96	96	96

(2) 主要事業会社 売上明細

① キリンビール

	2017年 第3四半期		2016年 第3四半期	
	実績	対前年増減	実績	対前年増減
売上高	億円	%	億円	%
ビール	1,920	△2.5	1,970	0.1
発泡酒	1,027	△3.2	1,061	△5.2
新ジャンル	1,060	△6.3	1,131	△7.8
計	4,009	△3.7	4,163	△3.5
RTD	647	8.8	594	3.5
洋酒・その他	312	15.7	269	8.4
売上高計	4,968	△1.2	5,028	△2.2



② キリンビバレッジグループ

	2017年 第3四半期		2016年 第3四半期	
	実績	対前年増減	実績	対前年増減
カテゴリー別	万ケース	%	万ケース	%
紅茶	3,823	2.1	3,743	10.0
日本茶	2,377	10.1	2,159	36.1
コーヒー飲料	2,185	△2.5	2,242	4.0
果実・野菜飲料	1,915	△9.3	2,112	3.3
炭酸飲料	1,698	△8.9	1,863	△0.3
健康・スポーツ飲料	831	22.0	681	8.3
水	3,086	△4.2	3,221	8.7
その他	1,403	△9.7	※ 1,553	7.0
計	17,318	△1.5	17,574	9.1
容器別				
缶	2,863	△3.3	2,962	8.2
大型PET (2L, 1.5L等)	5,851	△0.3	5,866	10.3
小型PET (500ml, 280ml等)	6,984	△0.8	7,038	8.3
その他	1,620	△5.2	※ 1,708	10.5
計	17,318	△1.5	17,574	9.1

※2017年連結除外の製造子会社受託販売分を除く